


ふりがな 氏名	なかの なおみ <b>中野 直実</b>	都道府県	<b>鹿児島県</b>	
所属/肩書	<b>鹿児島大学教育学部学校教育教員養成課程家政専修</b>			
私のESD活動	<b>高齢者のための消費生活講座を考案し、公正で持続可能な社会の構築に貢献することを目的としています</b>			
ESD活動を表すキーワード	<b>経済の好循環</b>	<b>消費者市民社会</b>	<b>高齢者教育</b>	

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

私のESD活動は、高齢者のための消費生活講座を実践することにより、公正で持続可能な社会の構築に貢献することです。高齢者の消費者トラブルが近年増加傾向にあるという現状から、高齢者に対する消費者教育の重要性に着目し、卒業論文を通して活動を進めています。

これまでに私は、消費生活センターが行っている出張講座を見学させてもらい、講座の現状と課題を把握し、私が実践する講座の内容を考えました。その内容は、思考力・判断力・実践力を養うことができるよう、「伝え合うこと」、「考えさせること」を重視した内容になっています。また、参加者が受動的にならないための教具として「参加型紙芝居」を自作しました。参加型紙芝居とは、ただ物語を聞くだけの一般的な紙芝居ではなく、電話勧誘販売などへの対応力をつけられるように、場面を描いた紙を見せながら、読み手が悪質業者の役を行い、参加者に悪質業者との電話対応を疑似的に体験してもらうというものです。一度でも体験しておくことで、本当に悪質業者から電話が来た時にしっかり断ることができると思います。

この活動で得られる成果は、2つのことが考えられます。1つ目は経済の好循環を実現できることです。被害の多い高齢者の消費者トラブルの減少は、悪質業者にお金が行くのを防ぎ、良い企業にお金が行くことに繋がります。2つ目は持続可能な社会の実現につながるということです。この講座を通してまわりの人や将来を考えて消費行動をする力を身に付けていくことで、公正で持続可能な社会を作り上げていけると考えます。今から10月までには講座を実施し、先に述べたような成果を得ている予定です。

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？**

ESD活動をさらに深めるために、今後は、主に3つの視点から活動を展開していこうと考えています。1つ目は、高齢者のための消費生活講座の実践を10月までにすることです。実践する場合は、社会協議福祉会の方と連携し、地区公民館で行うことが決まっています。2つ目は、講座を受講した高齢者がリーダーとなって、知識を得ることに消極的な高齢者の啓発を行うことを見越した学習支援や、消費者教育を地域全体で考えるワークショップなどを行い、消費者問題解決力の高い地域づくりを目指すことです。この講座を行うことで、高齢者に自分たちの消費行動が、社会や将来の人々に大きく影響していることを強く自覚させ、持続可能な社会を実現させたいという思いがあります。3つ目に、大学生にも消費者市民を作ろうとする態度を持たせることです。大学の先生と協力し、講義の一環として私の講座を参考に、高齢者のための消費生活講座を考えてもらう予定です。